

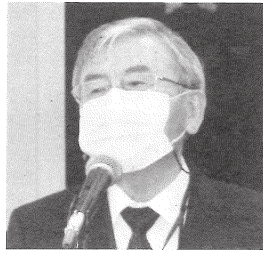
# 持続可能で若者が夢を抱ける

## 検査業界を目指し

### 4つの課題に取り組む！

(一社) C-I-W検査業協会

会長 安藤 純一



新年明けましておめでと  
うございます。旧年中は協  
会活動に格別のご支援を賜  
り、厚く御礼申し上げます。  
本年も会員一丸となって  
(一社)日本溶接協会「C  
IW認定制度」の一層の普  
及に努めて参ります。  
当協会では、会員企業の

みならず広く検査業界が  
持続可能で若者が夢を抱  
ける体制を構築するため  
に取り組むべき課題とし  
て、次の4つを掲げていま  
す。

①不正の撲滅 昨年5月  
9日付で日本製鋼所M&E  
㈱より、製造過程の品質検  
査において、不適切な行為  
についてプレス発表があ  
り、ステークホルダー各位  
に対して謝罪文が掲載され  
ました。  
その後、同社は検査体制  
の見直しを含めて、コンプ

ライアンスの強化に注力  
し、調査結果などについて  
2022年11月14日に報告  
書を公表しました。その中  
で、原発関連の不正を含め  
て449件に上る、改ざん  
や捏造など不正が確認され  
ております。

本不正は1998年以降  
繰り返しされており、火力発  
電所の発電機やタービンの  
軸に使われる部材など、顧  
客が決めた性能に満たして  
いなくても納期を優先し、  
製品部門が検査部門に対  
し、データの改ざんを指示

タービンの軸材が約450  
0本で、国内出荷分だけで  
も1割強での不正が確認。  
また、非破壊検査業界に関  
係するUT、MT、PTで  
の不正も含まれるとのこ  
と。

三菱電機、日野自動車な  
ど、多くの業界で不正検査  
が脈々と続いている中で、  
本件も氷山の一角と思わ  
れ、昨年開催されました当  
協会の各地域で開催されま  
したブロック会議において  
も、コスト削減を目的とし  
た不正検査について、匿名  
で報告がありました。

こうした事態を真摯に捉  
えて、当協会では、倫理理  
事会のリーダーシップの下  
で、鉄骨・鉄筋に関わる不  
正検査の撲滅に向けた取組  
みを強化しており、本年の  
ブロック会議では、コンプ

ライアンス遵守の重要性に  
関わる講演会を実施するな  
ど、業界の健全な発展に努  
力しております。

②実質完全週休2日制を  
実現できる検査料金の実現  
⇨夜中や休日の対応案件が  
存在することから、完全な  
週休2日制の実現は困難で  
あるものの、働き方改革と  
検査料金の単価20%増によ  
り「実質完全週休2日制」  
を実現し、検査員の満足度  
向上を目指します。昨年4  
月には、政府より、価格転  
嫁に関する周知が発出され、  
会員の皆様に周知させ  
ていただく中、ぜひこのチ  
ャンスを活用し、契約価格  
の適正化につなげていただ  
きたく思います。

③各種検査会社登録制度  
検査技術者認定制度の見  
直し ④特に技術者の認定に  
ついては、医者や弁護士  
のような永久資格とし、更新

時の合否判定は新しい知見  
の講習&その内容に基づく  
テスト結果が望ましいと考  
えます。

④「JIS Z 2305」  
2013」の解釈・運用 ①  
(一社)日本非破壊検査協  
会へ「経験期間」につい  
て「検査会社に所属してい  
れば全ての部門の経験とし  
て捉える」ことを依頼して  
います。

「狭義」の解釈を行えば、  
受験者の大幅な減少によ  
り、重厚長大産業への検査  
員の供給が困難となるばか  
りでなく、非破壊検査協会  
殿の財政基盤への影響や、  
当協会の存立基盤である  
「CIW認定制度」が成り  
立たなくなることも懸念さ  
れます。対話を通じて落と  
しどころを模索していきま  
す。

本年もCIW認定事業者  
の責務である「いかなる状  
況においても、非破壊検査  
を通じて社会の安全・安心  
を確保するため尽力し、社  
会の期待に応える」を実行  
して参ります。

◇ ◇ ◇